

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	12月20日(火)	長崎県	漁船	衝突
	12月20日(火)	長崎県	プレジャーボート	衝突
	12月23日(金)	長崎県	漁船	乗揚
	12月23日(金)	長崎県	漁船	乗揚
	12月24日(土)	熊本県	その他	運航不能
12月25日(日)	大分県	プレジャーボート	乗揚	

人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	12月19日(月)	長崎県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	海中転落
	12月25日(日)	大分県	船舶海難による乗船者の事故	海中転落
	12月25日(日)	大分県	船舶海難による乗船者の事故	海中転落

冬のミニボート海難発生！ 年末年始、海難に気を付けましょう！

【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事故事例】

令和4年12月20日07:10頃、船長1名でミニボートに乗船し海水浴場砂浜から出港、沖合にて魚釣りを開始した。

同日07:15頃、自船左舷側前方に接近する漁船を発見、当初見合い関係に衝突の危険はなかったが、漁船が徐々に自船へ接近し、衝突の危険が生じたことから、身の危険を感じ、船上で手を振り漁船に対し停船を求めるも一向に止まる気配がないため、衝突直前に海に飛び込んだもの。

漁船は漁場向け航行中、自船左舷側前方に小型船舶を認め、同小型船舶の動静に気を取られていたため、ミニボートの存在に気が付くことなく、衝突したものの。



◆ミニボートに乗船時の注意事項

・目立つ格好、認識旗を掲げましょう。

海上では、様々な方向から危険が迫ってきます。釣り中であっても全方位の見張りをを行い、他船や浅瀬等への接近に注意しましょう。

また、ミニボートの形状は、他船から見えずらく、他船に気づいてもらえない場合があります。他船が接近して来る場合は、釣り中であっても**自ら早めに大きく避航**しましょう。

相手船に気が付いてもらうために、自船の存在を示すために認識旗の掲揚や明るい服装を心がけましょう。



荒天により水船状態となったミニボート



・気象・海象に注意しましょう。

ミニボートは「波高20cm以上」「風速4m/s以上」で安全な運航ができないと言われています。

必ず事前に気象情報を確認しましょう。また、実際の海上では、天候不良の場合もあります。気象・海象に少しでも不安を感じた場合は、出航しない判断や早めに帰港する判断も必要です。

・船のバランスに注意しましょう。

ミニボートは、船体が小さく軽量のため、揺れやすく不安定です。乗員や荷物の配置に注意し、重量が片方だけによらないようにしましょう。

また、船上で立ち上がると、重心が高くなりバランスが悪く、海中転落する危険性が高まります。移動する際は、他の乗員に声をかけ、バランスに注意し出来るだけ低い姿勢で動きましょう。



ミニボートでは急に立ち上がらない

寒さの厳しい日が続きますが、体調に気を付け、海難にも気を付け、良き新年をお迎えください。